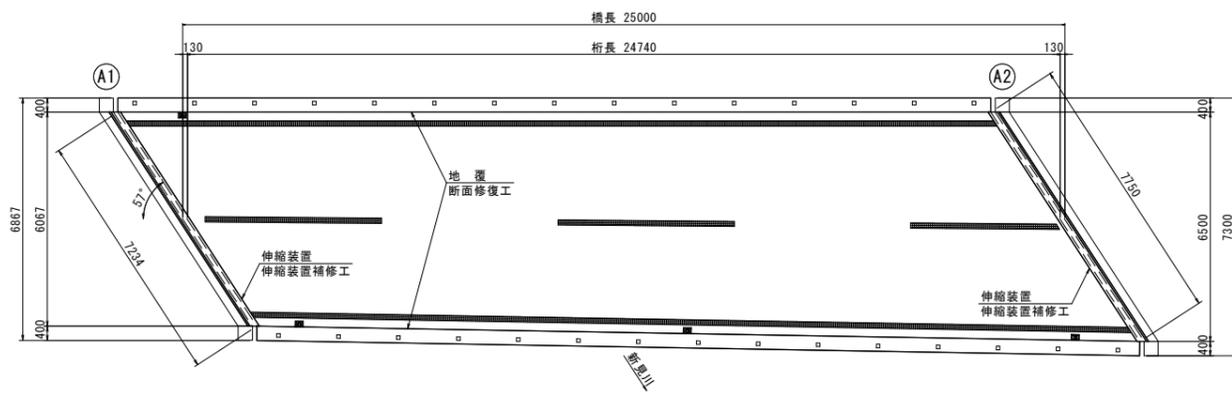
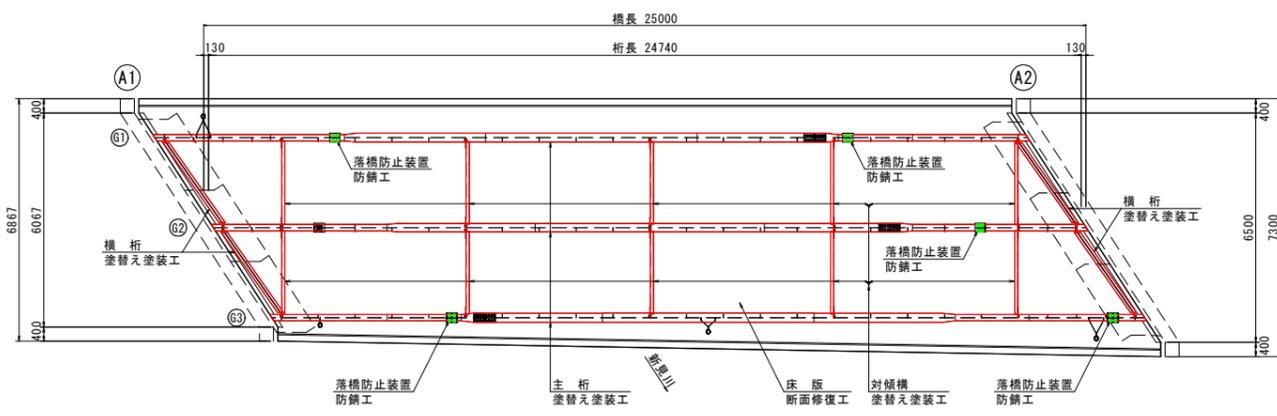


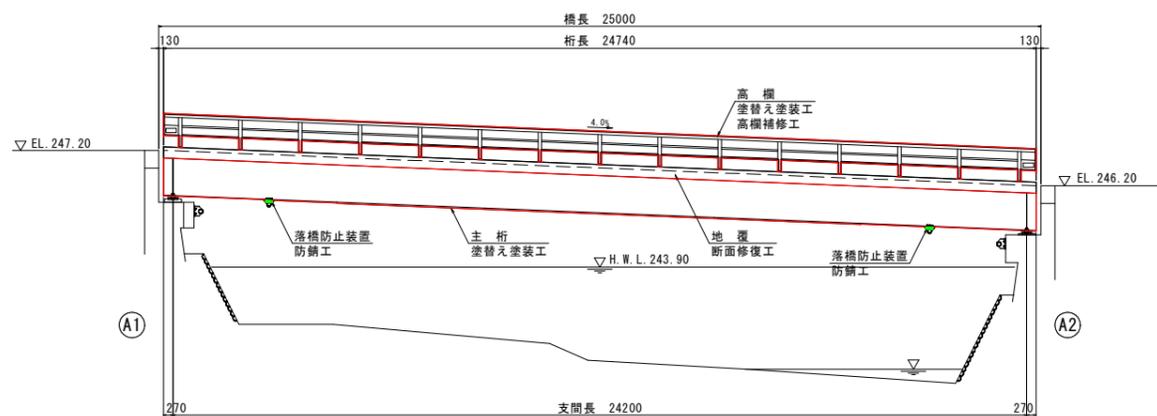
平面図
(橋面)



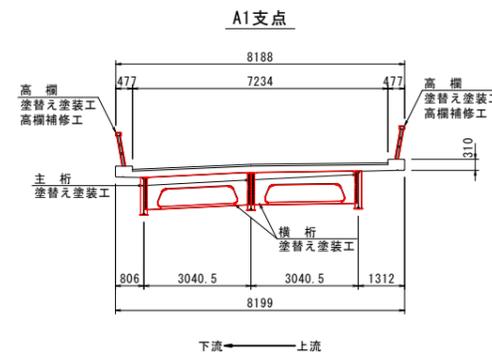
平面図
(桁下面)



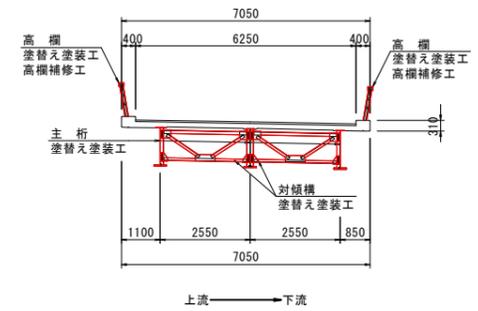
側面図



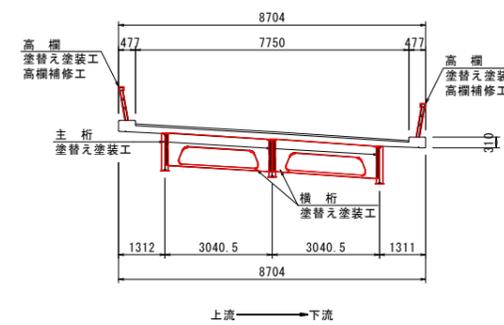
断面図
S=1:100



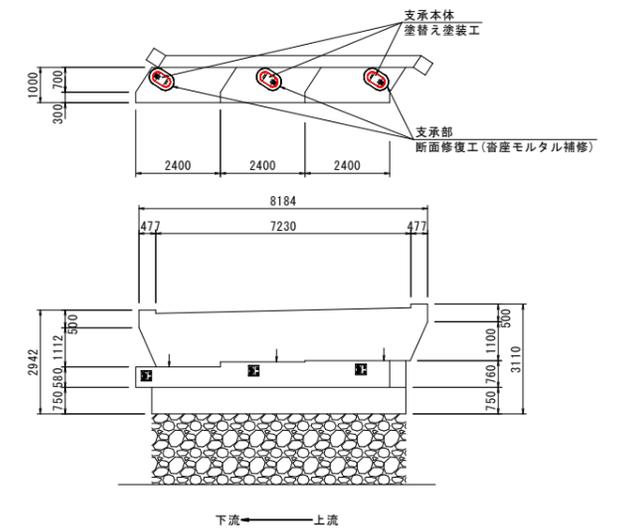
中間部



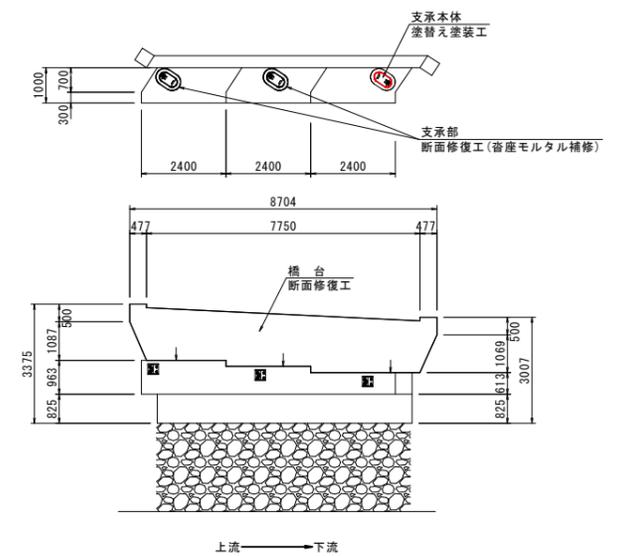
A2支点



A1橋台



A2橋台



補修項目一覧

部位・部材	種別	細別(工法)	規格	備考	
上部工	床版	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
	主桁	塗装替え塗装工	錆転換型防食塗装工法	タイタンコート工法同等品以上	
	横桁	塗装替え塗装工	錆転換型防食塗装工法	タイタンコート工法同等品以上	
	対横構	防錆工	錆転換型防食塗装工法	タイタンコート工法同等品以上	
下部工	橋台	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
	支承本体	塗装替え塗装工	錆転換型防食塗装工法	タイタンコート工法同等品以上	
		断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	沓座モルタル補修
路上	伸縮装置	伸縮装置補修工	伸縮装置止水工		
	地覆	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	
	高欄	塗装替え塗装工	錆転換型防食塗装工法	タイタンコート工法同等品以上	
			高欄補修工	紫外線硬化型FRP補修工	ウルトラパッチ同等品以上

【凡例】

□	断面修復工
□	断面修復工(沓座モルタル補修)
■	塗装替え塗装工
■	防錆工
■	伸縮装置補修工
■	高欄補修工

【注記】
・形状寸法は、既往図書によるものではなく、限りなく近接して形状を測定し作図したものである。したがって、事前に現地を再確認(実測)し、必要に応じて適宜修正を行うこと。

【当初】

路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線(赤瀬橋)橋梁塗装工事(補助)(国補正)			
図名	補修一般図		
位置	八頭郡智頭町新見		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 7 葉中の内 2		
令和 7~8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

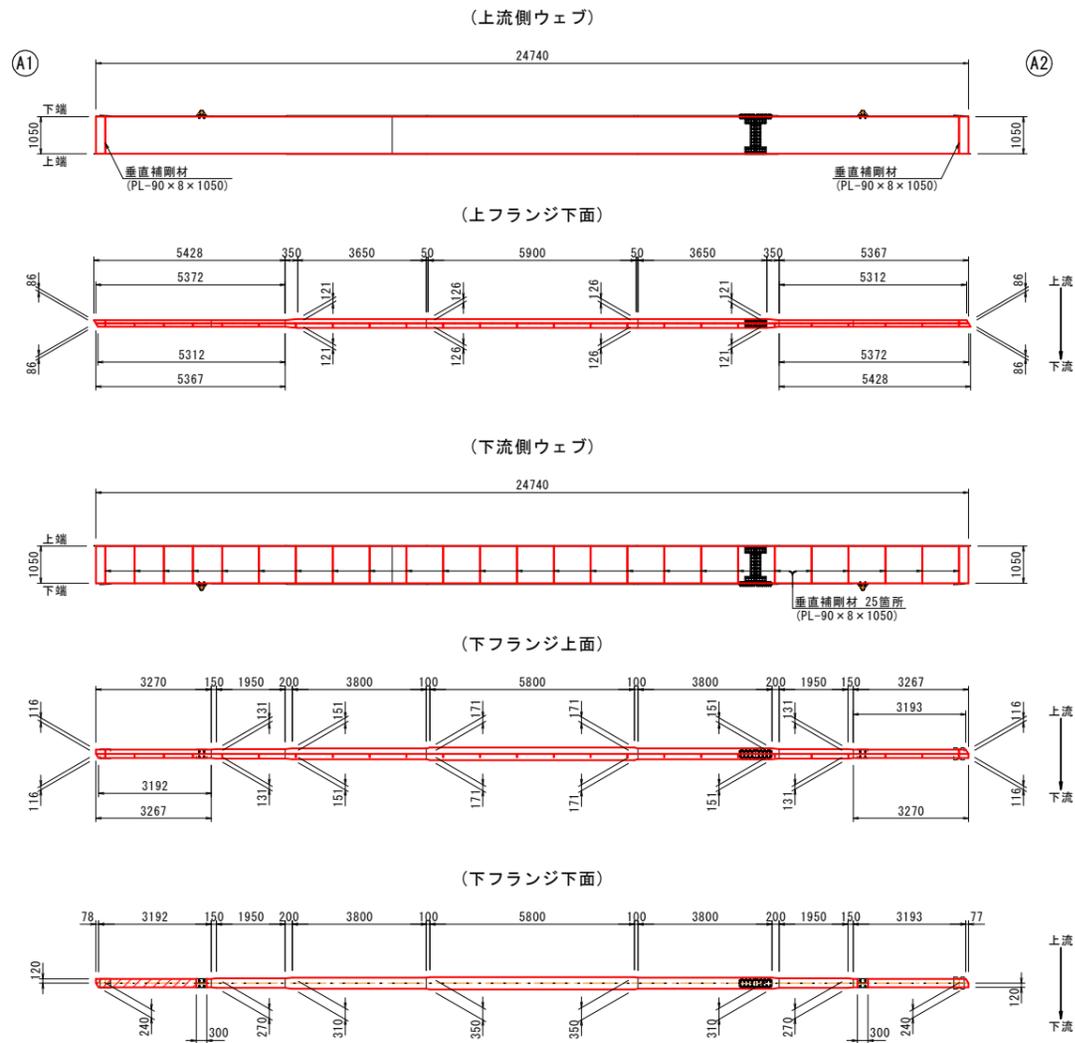
※A3出力時は表記縮尺の1/2

設計条件		
路線名	主要地方道 津山智頭八東線	
橋長	25.000m	
有効幅員	7.100m	
斜角	57°	
上部構造	形式	活荷重合成鋼板桁橋
	舗装	コンクリート舗装 t=50mm
下部構造	床版	鉄筋コンクリート床版 t=160mm
	形式	A1橋台 半重力式 A2橋台 半重力式 基礎 直接基礎
支承条件	線支承	

塗替え塗装工

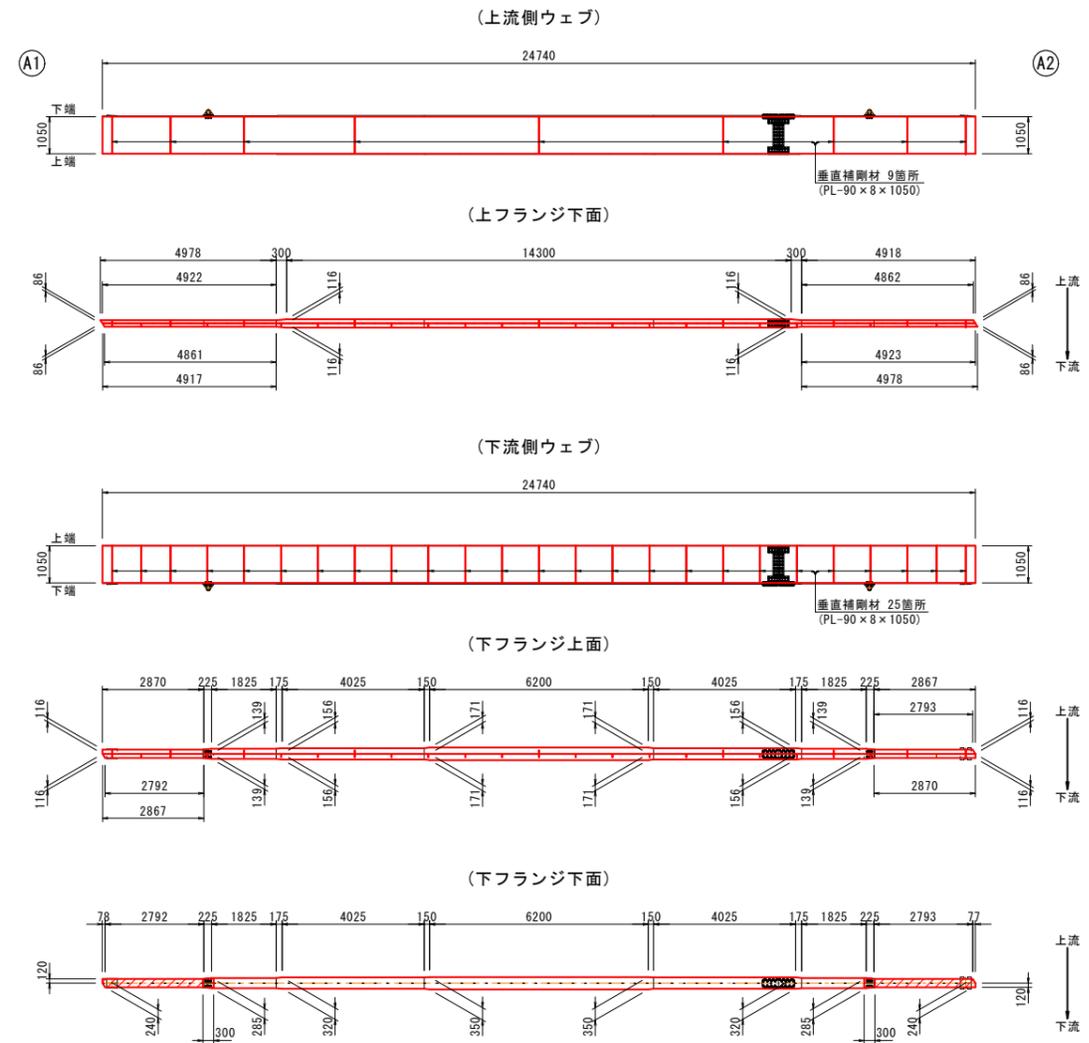
主桁(G1)展開図

S=1:100



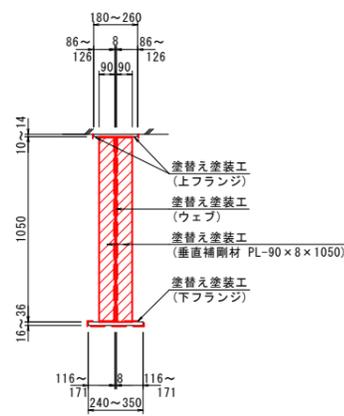
主桁(G2)展開図

S=1:100



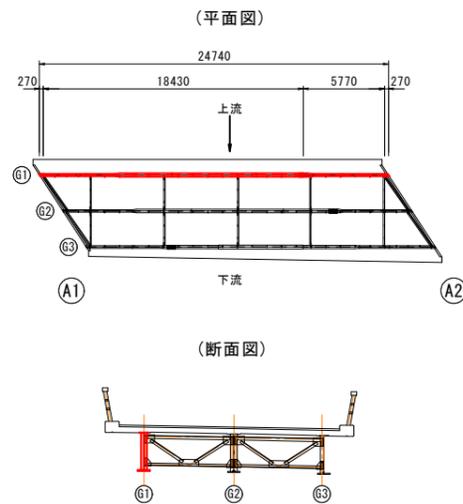
主桁(G1)詳細図

S=1:20



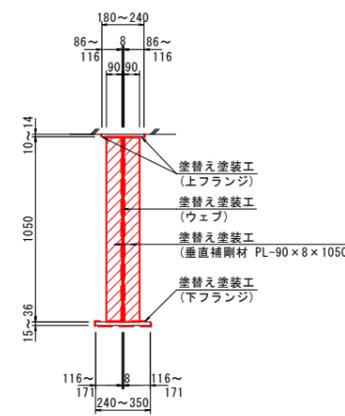
位置図

NonScale



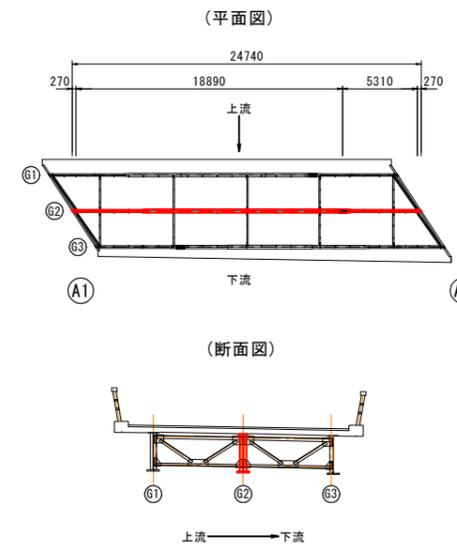
主桁(G2)詳細図

S=1:20



位置図

NonScale

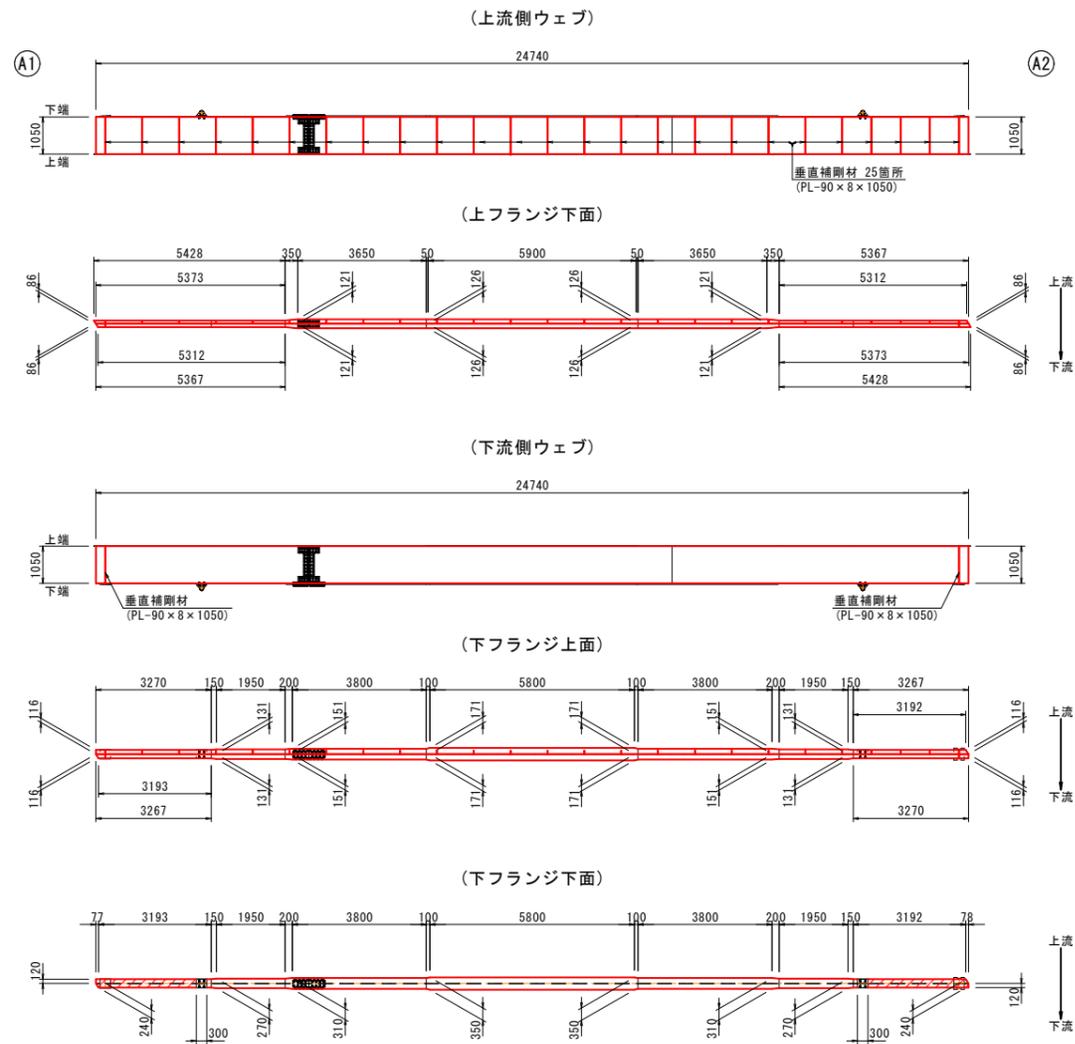


路線名	県道津山智頭八東線 (赤瀬橋)		
位置	八頭郡智頭町新見		
図名	補修計画図 (1/5)		
位置	八頭郡智頭町新見		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 7 葉中の内 3		
令和 7~8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

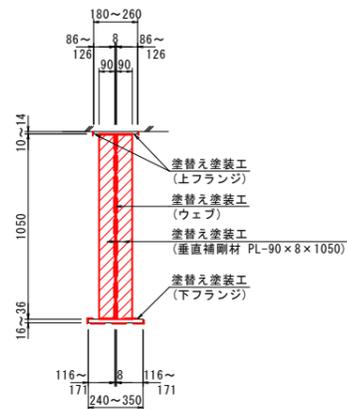
※A3出力時は表記縮尺の1/2

塗替え塗装工

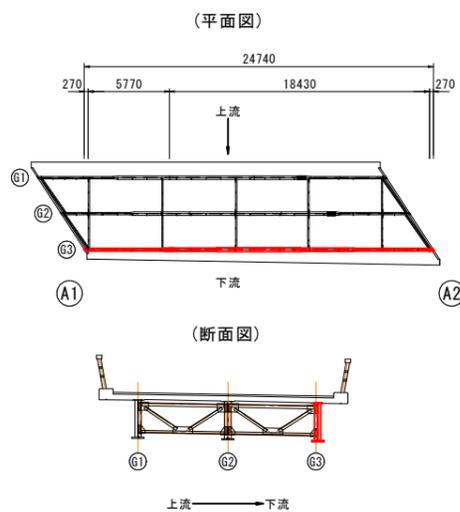
主桁 (G3) 展開図
S=1:100



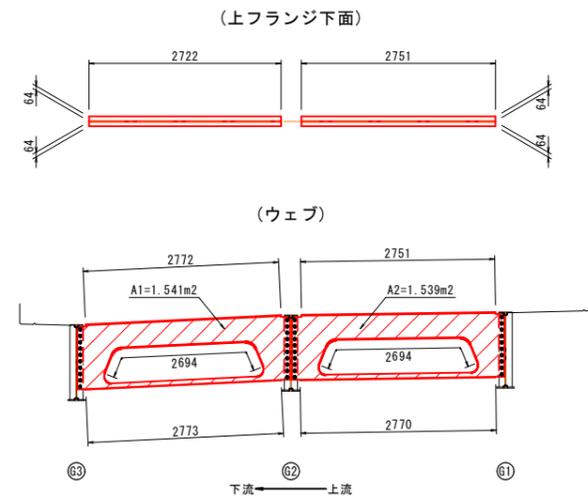
主桁 (G3) 詳細図
S=1:20



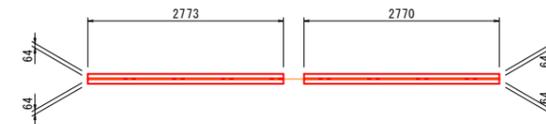
位置図
NonScale



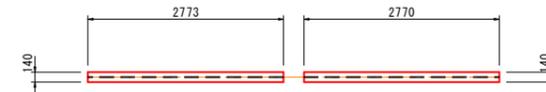
横桁 (A1 支点) 展開図
S=1:50



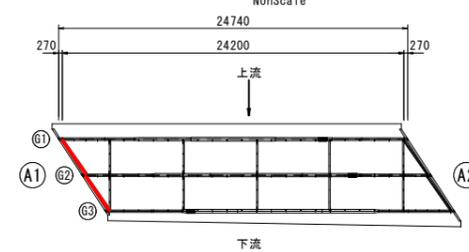
(下フランジ上面)



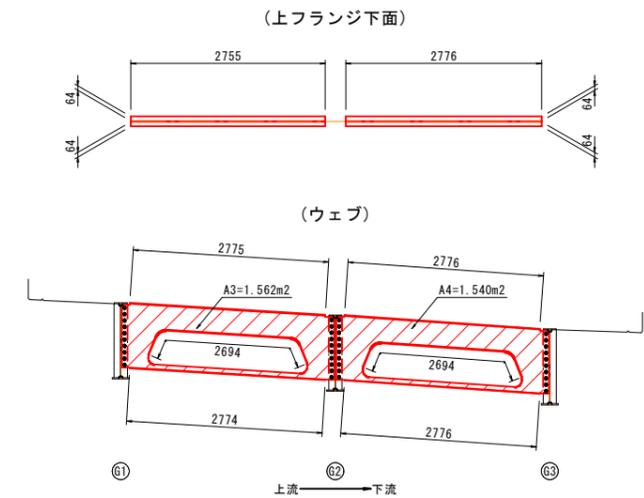
(下フランジ下面)



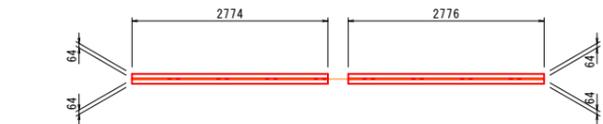
(平面位置図)
NonScale



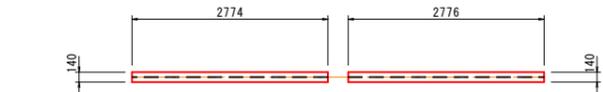
横桁 (A2 支点) 展開図
S=1:50



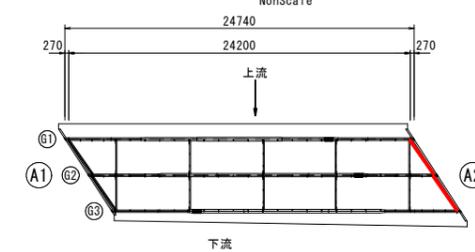
(下フランジ上面)



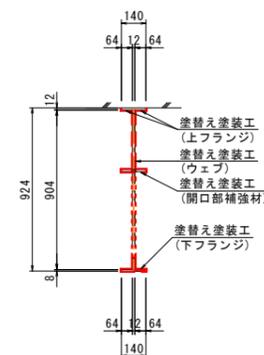
(下フランジ下面)



(平面位置図)
NonScale



横桁詳細図
S=1:20



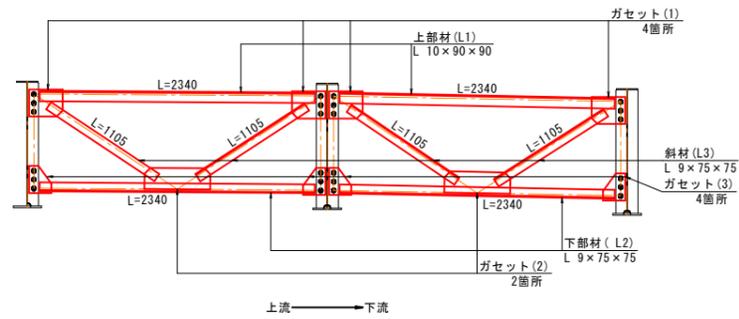
【当初】 (赤瀬橋)			
路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線(赤瀬橋) 橋梁塗装工事 (補助) (国補正)			
図名	補修計画図 (2/5)		
位置	八頭郡智頭町新見		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 7 葉中の内 4		
令和 7~8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

※A3出力時は表記縮尺の1/2

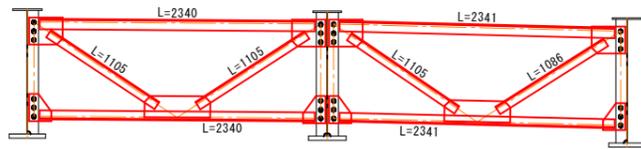
塗替え塗装工

対傾構部
S=1:30

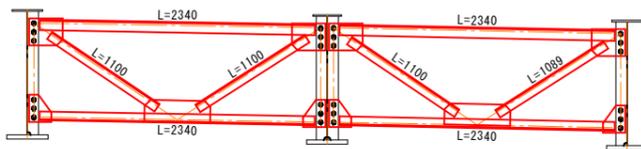
対傾構 (C1)



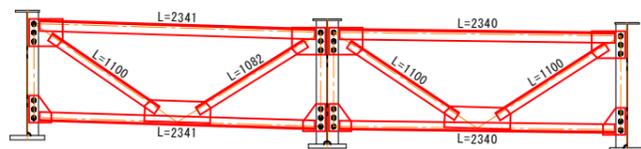
対傾構 (C2)



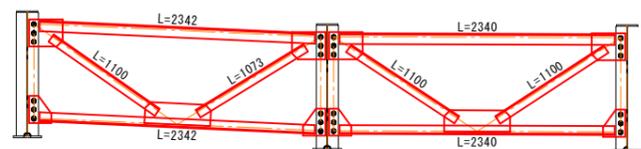
対傾構 (C3)



対傾構 (C4)

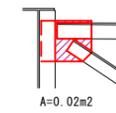


対傾構 (C5)

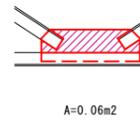


ガゼット部
S=1:20

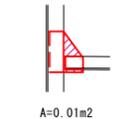
ガゼット (1)



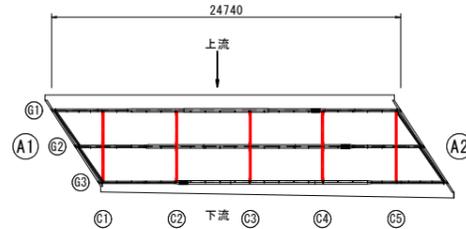
ガゼット (2)



ガゼット (3)

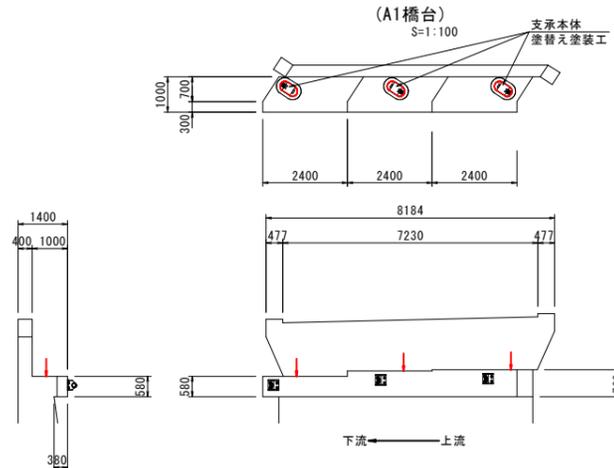


(平面位置図)
NonScale

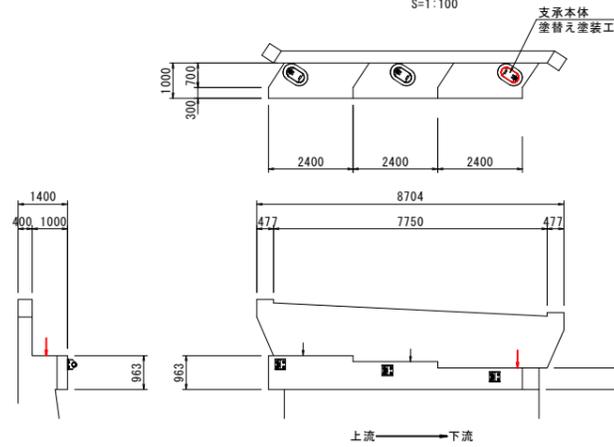


支承本体
S=1:100

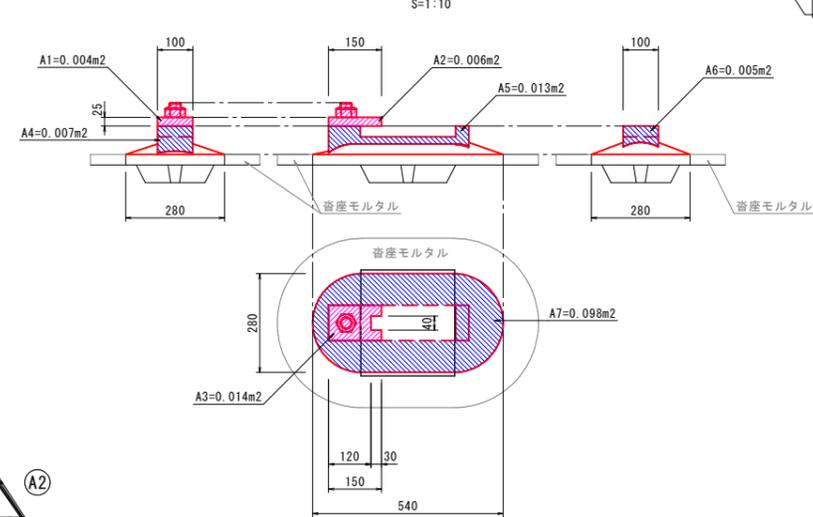
(A1橋台)



(A2橋台)

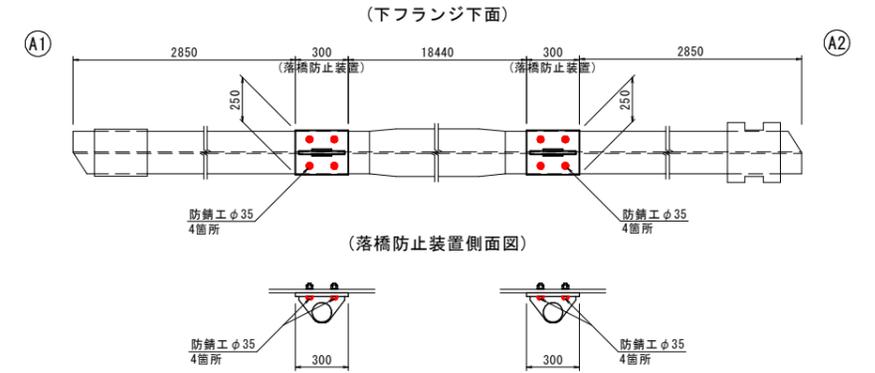


(支承詳細図)
S=1:10

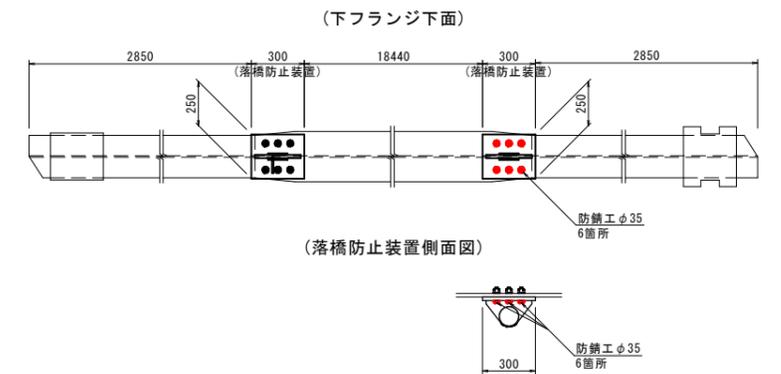


防錆工
S=1:20

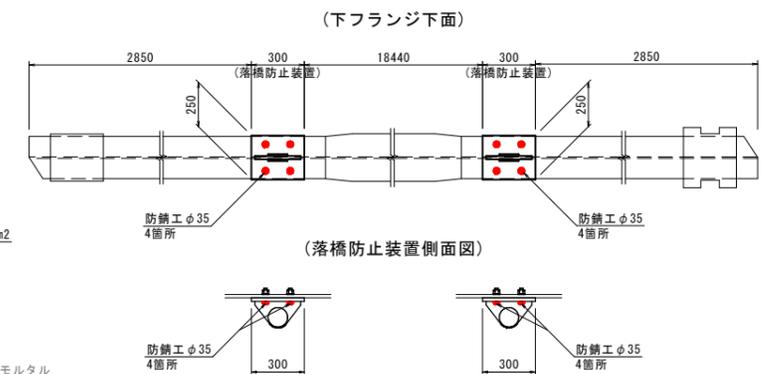
主桁 (G1)



主桁 (G2)



主桁 (G3)

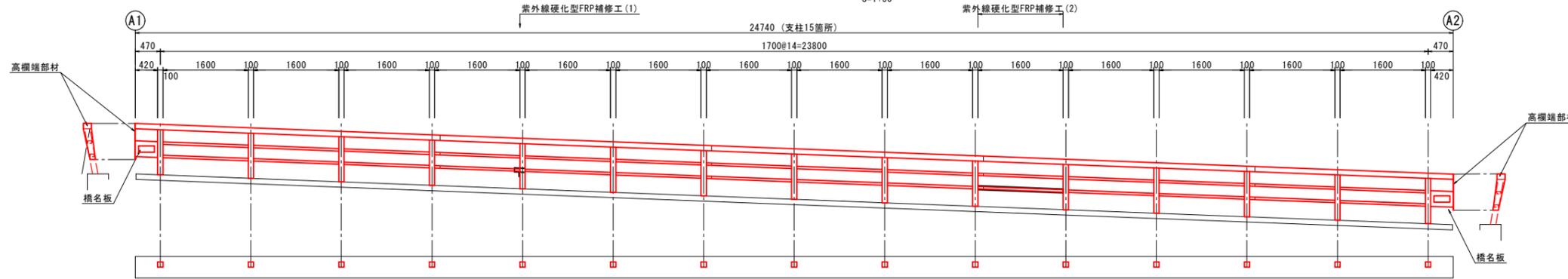


路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線(赤瀬橋)橋梁塗装工事(補助)(国補正)			
図名	補修計画図(3/5)		
位置	八頭郡智頭町新見		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全7葉中の内5		
令和7~8年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

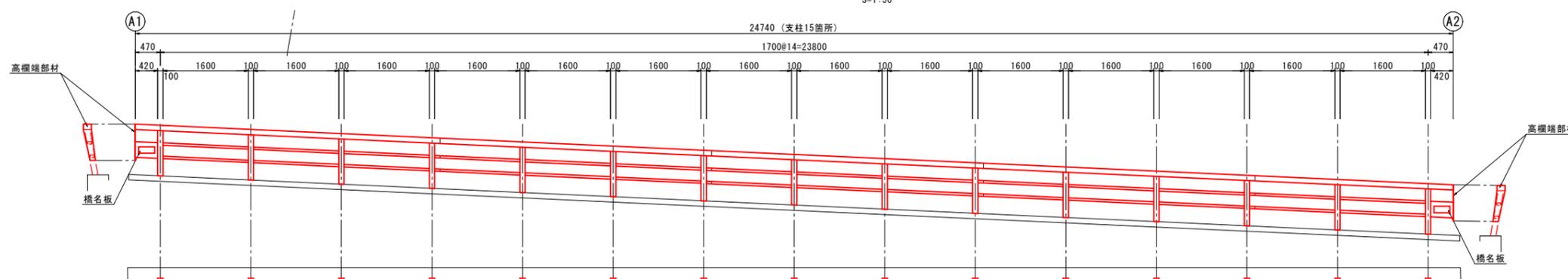
※A3出力時は表記縮尺の1/2

塗替え塗装工
高欄補修工

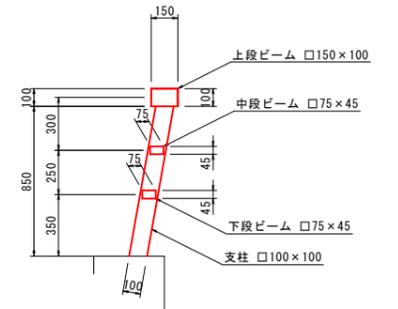
上流側高欄側面図/支柱平面図



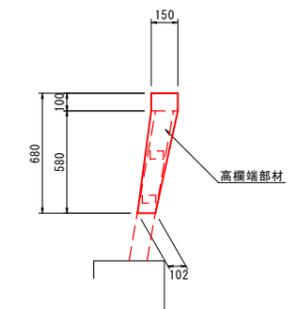
下流側高欄側面図/支柱平面図



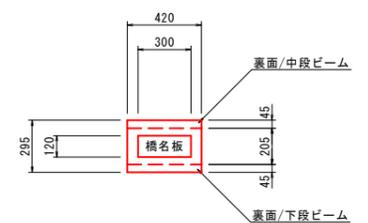
高欄一般部



高欄端部

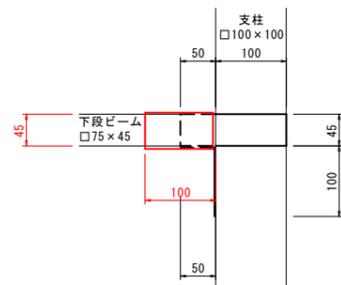


橋名板取付部



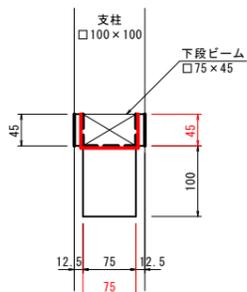
紫外線硬化型FRP補修工 (1)

(側面図)



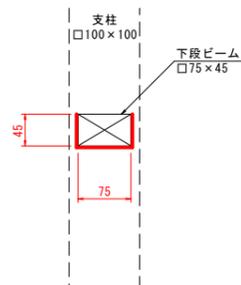
紫外線硬化型FRP補修工 (1)

(ビーム断面図)



紫外線硬化型FRP補修工 (2)

(ビーム断面図)



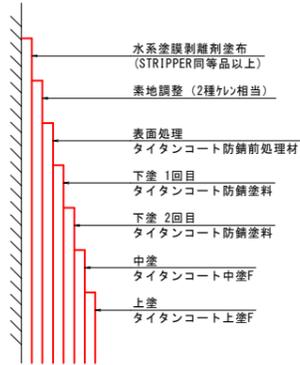
■ : 塗替え工塗装工
□ : 紫外線硬化型FRP補修工

路線名	県道津山智頭八東線		
位置	八頭郡智頭町新見		
図名	補修計画図 (4/5)		
位置	八頭郡智頭町新見		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 7 葉中の内 6		
令和 7~8 年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

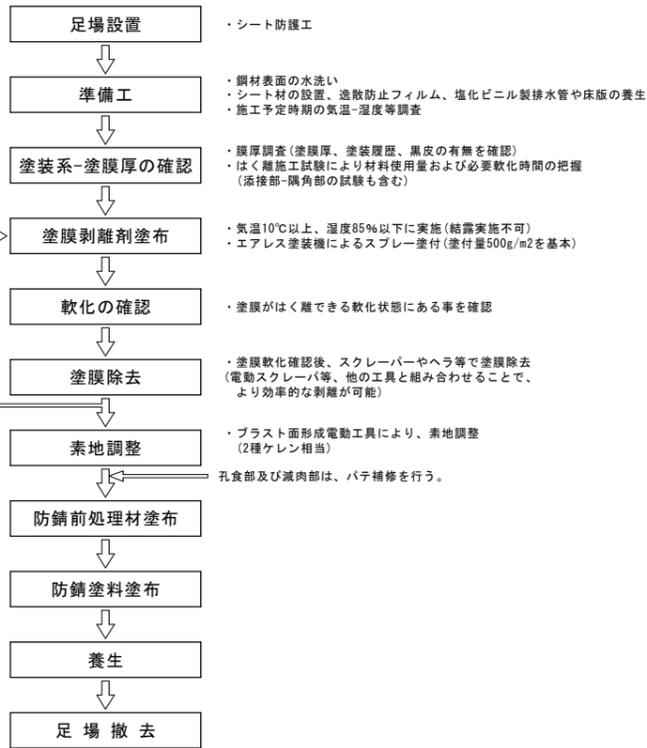
※A3出力時は表記縮尺の1/2

上流
↓
下流

塗替え塗装工/防錆工
錆転換型防食塗装工法



施工フロー
(参考)



膜厚が500μm以上の場合に部分的に塗膜が残った場合

- 注記)
1. 施工前には現地調査を行い、補修図と照合を行うこと。
 2. 狭隙部の塗膜除去、素地調整、塗装等の施工方法については、発注者と協議を行うこと。
 3. 素地調整は湿式工法(塗膜剥離剤塗布)とし、剥離剤で除去できない箇所は、吸塵式ディスク サンダー等の電動工具と手工具を併用し、粉じん対策を考慮しながら塗膜除去を行う。
 4. はく離剤工法適用前に既設塗膜厚(材料使用量-必要軟化時間)を確認するため、はく離試験を実施のこと。
塗膜厚500μm以上の部位がある場合は、先行はく離を行うこと。
 5. はく離剤工法適用可能な以下の気象条件を守り、施工予定時期の気温-湿度を事前に確認すること。(1時間毎の測定平均気温10℃以上35℃以下、湿度85%以下)
 6. 塗膜表面が結露している場合、はく離剤適用不可であるため工事着手前に除去対象塗膜表面を確認のこと。
 7. はく離剤で除去できない黒皮およびジンクリッチペイントが現地確認された場合は施工協議実施のこと。
 8. 剥離剤塗布後の素地調整(2種ケレン相当)は全体的に行う。この時、ワイヤーホイールは不可とし、ジクスペーパー、ダイヤモンドホイールカップを用いること。
 9. 塗装は刷毛およびローラーを用いる。

【当初】 (赤瀬橋)

路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線(赤瀬橋)橋梁塗装工事(補助)(国補正)			
図名	補修計画図(5/5)		
位置	八頭郡智頭町新見		
縮尺	NonScale	単位	M・MM
図号	全7葉中の内7		
令和7~8年度施行	鳥取県		
鳥取県八頭県土整備事務所			

※A3出力時は表記縮尺の1/2